

サステナブル未来予想図

～最適な社会の構築に向けて～

学生
小論文
募集



第15回

NRI学生小論文 コンテスト2020

高校生 大学生

募集期間

高校生の部

7/1(水) → 9/11(金)

大学生の部

7/1(水) → 9/4(金)

入賞者発表など

最終審査会・表彰式および入賞者発表

12/18(金)

賞金 大賞ほか

高校生の部

大学生の部

大賞

30万円

大賞

50万円

その他の賞金は、ホームページやチラシ裏面をご覧ください。

ホームページ

<https://www.nri.com/jp/news/event/1st/cc/sustainability/contest>

問合せ先

〒194-0022 東京都町田市森野1-34-10(スクールパートナーズ内)NRI学生小論文コンテスト2020事務局
E-mail : contest2020-ext@nri.co.jp





サステナブル未来予想図

～最適な社会の構築に向けて～



みなさんの考える「最適な社会」とは、どのような社会でしょうか？ NRIでは最適な社会をつくるために、「社会にとって大切な資源(ヒト・モノ・カネ・知的財産など)を有効に活用して付加価値を生み出す力強い産業を育み、あらゆる人が暮らしやすい社会を目指す」ことを、企業経営の中核目標の一つに定めています。なぜ、「最適な社会」を目指さなければならないのでしょうか？

世界は、多くの課題を抱えています。現在の経済活動や消費活動は地球全体に大きな負荷をかけており、将来世代の資源を消費してしまっているのです。これではとても「最適な社会」とは言えません。

近年、この課題に対する解決策の一つとして、「シェアリングエコノミー」が拡大しています。これは、「モノを所有する」よりも「必

要な時に使えば良い」という人々の価値観の変化に支えられ、限られた資源を有効活用する有力な方法の一つとなっています。

テクノロジーの進歩も、解決策の例として挙げられます。生活に馴染みつつあるAI(人工知能)は、この先「最適な社会」に向けたサポートをしてくれるでしょう。また、伝統技術の後継者不足という問題に対しては、技術者の手の動きや視線の動きなどをAIが学習することで、優れた技術を残していくという活用方法も研究されています。

「最適な社会」を構築していくためには、限りあるあらゆる資源を有効に活用・循環させる必要があります。みなさんが社会に出たとき、みなさんの子ども世代が大人になったとき、みなさんが実現すべきと考える「最適な社会」と、それに向けた取り組みを描いてください。

※テーマの詳細は、下記「コンテストホームページ」をご覧ください。

第15回

NRI学生小論文コンテスト2020

野村総合研究所 主催

大学生の部

賞 [大賞1作品] 賞金50万円 [優秀賞1作品] 賞金25万円
[奨励賞 数作品] 賞金5万円

[2020年度新設] [留学生特別賞1作品] 賞金25万円

応募論文の字数：4,500～5,000字(別途400字程度の要約を添える)

応募資格：日本国内の大学院、大学、短大、高等専門学校(4～5年)に在籍している学生で、2020年7月1日時点で27歳以下の、個人またはペア(ペアの相手は、「大学生の部」「高校生の部」いずれかの応募資格者であること)。

※1：大学進学をめざして勉強している大学受験資格を持つ学生の方は、大学生の部にご応募ください。

※2：日本国内の大学院、大学、短大、高等専門学校(4～5年)、日本語学校に在籍している留学生で、2020年7月1日時点で30歳以下の方は、大学生の部にご応募ください。

高校生の部

賞 [大賞1作品] 賞金30万円 [優秀賞2作品] 賞金15万円
[奨励賞 数作品] 賞金3万円

応募論文の字数：2,500～3,000字(別途200字程度の要約を添える)

応募資格：日本国内の高校、高等専門学校(1～3年)に在籍している学生で、2020年7月1日時点で20歳以下の、個人またはペア(ペアの相手は、「高校生の部」の応募資格者であること)。

[応募にあたっての留意事項]

- ・応募いただく論文は、日本語で執筆された、自作で未発表のものに限ります。
- ・論文の字数制限は本文を対象とし、「タイトル」や「出所の記載」「注釈・凡例」「参考文献一覧」などは字数に含まれません。
- ・論文の中で、他の著作物を引用される場合は、その箇所を明記するとともに、論文の最後に出所を記載してください。
- ・図表の数は5つ以内としてください。
- ・野村総合研究所(以下、NRI)指定の応募用紙([応募方法]参照)を使っていないもの、論文に独自のタイトルや要約がないものは審査対象外になります。
- ・論文審査を通過して最終審査に残った方には、資料準備の上で、2020年12月18日(金)の最終審査会でプレゼンテーションを行っていただきます。当日の交通費、および遠方などの理由で事務局が必要と判断した方の宿泊費は、NRIが負担します。
- ・他のコンテストなどに同内容の論文を多重応募することは禁止とします。
- ・入賞した論文の著作権はNRIに帰属します。
- ・入賞した論文のタイトルと入賞者の氏名・学校名・学年を公表させていただくこと、および最終審査会のプレゼンテーションの様子をYouTubeで公開させていただくことをご了承ください。
- ・過去の当コンテストで入賞経験のある方は応募をご遠慮ください。(異なる部門であれば応募可能)
- ・NRIグループ社員の家族は応募できません。

募集期間

[大学生の部] 2020年7月1日(水)～9月4日(金)

[高校生の部] 2020年7月1日(水)～9月11日(金)

- ・オンライン送信：締切日当日24時までに事務局で受信したものが有効
- ・郵送：締切日までの消印が押されたものが有効

[応募方法]

下記の「コンテストホームページ」でテーマ詳細や応募要項を確認の上、「応募用紙」をダウンロードし、必要事項と論文(本文、要約)を記入して、以下のいずれかの方法でお送りください。

- ①「コンテストホームページ」の応募画面からオンラインで送信する
- ② CD-Rに保存の上、コンテスト事務局に郵送する(CD-Rは返却いたしません)

[審査方法]

NRI社員による一次審査の後、未来創発センター長の桑津浩太郎研究理事を委員長、ジャーナリスト・名城大学教授・東京工業大学特命教授の池上彰氏、ノンフィクションライターの最相葉月氏を特別審査委員、社員数名を委員とする審査委員会による論文審査を行い、最後に論文審査を通過した方によるプレゼンテーションで受賞を決定します。



特別審査委員
ジャーナリスト
名城大学教授
東京工業大学特命教授
池上 彰 氏



特別審査委員
ノンフィクションライター
最相 葉月 氏

[最終審査会・表彰式] および [入賞者発表]

2020年12月18日(金)に最終審査会および表彰式を東京で開催します。また、同日にすべての入賞者を「コンテストホームページ」で発表します。

評価を行う上で重視するポイント

- ・事実や一般論の引用よりも、
自分の意見・主張・解決策などにウェイトを置いて
記述していること
- ・「無難な内容」よりも、
「大胆な発想」に基づく論文であること



[コンテストホームページ]

www.nri.com/jp/news/event/1st/cc/sustainability/contest

[お問い合わせ]

〒194-0022 東京都町田市森野1-34-10 (スクールパートナーズ内)

「NRI学生小論文コンテスト2020」事務局 E-mail contest2020-ext@nri.co.jp